



赤ちゃんを抱っこするひも「スリング」の販売で成功し、「カリスマ主婦起業家」として知られる園田正世さん(41)が24日、社長を務める販売会社「北極しろくま堂」(静岡市葵区宮ヶ崎町)の支社を韓国ソウルに開設する。

園田さんは二女の子育てでスリングを使ったのをきっかけに2000年、しろくま堂を創業し、アメリカから個人輸入した商品の販売を始めた。

好評だったことから、01年にネットショップを開設。04年には会社を設立し、日本人の体形に合わせたオリジナル商品も開発した。

現在は東京・自由が丘、神戸の直営店、全国の百貨店など販売網を広げ、年商は1億円を超えるという。

05年に日本商工会議所から女性起業家大賞・最優秀賞、06年には女性向け経済雑誌で「ウーマンオブザイヤー」に選ばれた。

06年8月、アメリカ・ポ

カリスマ主婦 ソウルへ進出

赤ちゃん抱っこひも販売で



神戸市の直営店でスリングを手に接客する園田さん(「北極しろくま堂」提供)

1トランドで開かれた育児に関する国際会議に参加。自社商品の品質に自信を持ち、海外進出の検討を始めた。気候や人の体形が似ている韓国を選んだ。

ソウル支社は現地スタッフ3人。当面、ネットで販売し、各地の展示会など

「商品を手配していく。韓国国内での聞き取り調査では日本同様、抱っこやおんぶより、ベビーカーなどを使う母親が多いことが分かった。園田さんは「おんぶ、抱っこの良さを世界に広めたい」と意気込んでいる。

「良さを世界に広めたい」